

自宅退院後の生活状況についての実態調査～今後の退院指導につなげる～ に関する研究

1. 研究の対象

回復期リハビリテーション病棟入院患者の中で2018年6月1日～2019年9月30日までに自宅退院した患者・家族の合計約200名。

2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーション病棟を退院された患者が自宅でどのように過ごされていたかをアンケート調査する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：アンケートの回答。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

なお、無記名アンケートのため、回答後に撤回の申し出があっても希望に添えないことをご了承ください。

研究責任者：

京都中部総合医療センター 回復期リハビリテーション病棟 看護師 小山みさき

-----以上